

よいことのために
手をとりあおう



2025 - 26年度
会長 青山 圭一
幹事 島田 修

会長あいさつ 青山 圭一 会長



医療関係でいうと大きなニュースがあった。富山労災病院の（運営支援のため魚津市が3年間で6億円の援助をする）問題だ。人口減と診療報酬がずっと下がってきているところに人件費、材料費が上がってきている。

おそらく県内の公的病院は同様な状況だろう。大事な病院なのでみなさんと一緒にできるところから支援していきたい。もう一つはインフルエンザが急速に増えてきていること。皆さんも気を付けて欲しい。

出席報告

- 3447回 13名 72.22%
- 3445回 メークアップ 辻君
- 3445回 61.11%→66.66%

表彰式



特別表彰
長寿ロータリアン 朝野昌成君
RCに入会して40年が過ぎました。おかげでたくさんの方々とお会いでき、ロータリーに入ってよかったです。



感謝状
2024-25年度地区副幹事 西村敏信君
あまり協力した記憶がないので、ちょっと心苦しいですが、やったこともあるのでこれを頂いたと思っています。



感謝状
2024-25年度地区副幹事 青山圭一君
ガバナー補佐の訪問に同行や事前に訪問して状況を報告する仕事を2、3か所を行いました。

ニコボックス報告

- 青山圭一君 ドブデンツェベン様、小竹様、本日は訪問ありがとうございます。
- 西村敏信君 小中の同級生、男女26名で旅行に行ってきました。皆、じじばばでした。
- 島田 修君 本日は、米山記念奨学生のドブデンツェベン・アリウンザヤ様、砺波ロータリークラブ米山カウンセラーの小竹正記様ようこそいらっしゃいました。今日はよろしくお願ひします。
- 砺波RC 小竹正記様 砺波RCから米山奨学生のアヤさんをお連れしました。魚津とモンゴルの親善の一助になれば幸いです。

ゲスト・ピジター



砺波ロータリークラブ
米山カウンセラー 小竹正記様

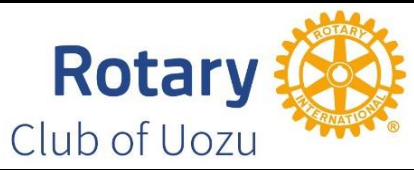
米山記念奨学生訪問卓話 「学びの日々」
ドブデンツェベン アリウンザヤ様



モンゴル出身でニックネームは「アヤ」です。富山大学大学院で心理学を学んでいます。モンゴル国立大学卒業後、日本語学院で学んだ後、富山大学に来て、今年の4月から正式に博士前期課程の学生になりました。専門は、

文化比較の視点から「謙遜」を研究することです。謙遜は美德とされますが、それが本当に心からのものなのか、あるいは表面的なものなのかを区別し、特に謙遜の言葉を受け取った人がどう感じるかを分析しています。心理学とは、心を見せることはできなくても、感情や思考を科学的に検証していく分野です。物事に集中していると他の変化に気づかないという心理学の実験も紹介しましたが、これは認知の重要な側面だと考えています。私が日本に来たきっかけは文学への強い興味でした。学生時代に夏目漱石の『坊っちゃん』を読んで感動し、原語の日本語で読めるようになりたいと思ったのが始まりです。日本語の学習では、先生方が親身に教えてくださったおかげで、難しい漢字学習を乗り越えることができました。本当に良い先生方に恵まれたと思っています。私の故郷モンゴルは、日本の約4倍の面積に人口は約350万人ほどの国です。首都ウランバートルには近代的な側面と、遊牧民の文化などの伝統が共存しています。夏には、ぜひモンゴルの美しい星空と青空を見ていただきたいです。今年、天皇皇后両陛下がモンゴルを訪問されたニュースに触れ、第二次世界大戦後の抑留経験を持つ日本の方との交流を通じて、今の平和な環境が当たり前ではないことを深く実感しました。日本に来てからは、日本語能力の向上に加え、国際交流活動にも積極的に参加しています。日本語学校や中学校でのボランティア活動では、モンゴル語や文化を紹介し、多文化共生社会への理解を深めるお手伝いをしました。また、「言葉には魂が宿る」という思いから、日本のニュース記事のモンゴル語への翻訳や、書籍の翻訳活動にも力を入れています。この富山での学びと貴重な経験を活かして、翻訳などを通じ、モンゴルと日本の間の「見えない壁」を和らげ、両国の相互理解に貢献できる「架け橋」になりたいと心から願っています。今日まで支えてくださった皆様への感謝の気持ちを忘れず、これからも自己成長と社会貢献のために精一杯頑張ります。

よいことのために
 手を取りあおう

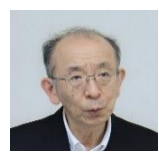


2025 - 26年度
会長 青山 圭一
幹事 島田 修

魚津市美術展鑑賞



第3446回例会は魚津市美術展鑑賞会として新川文化ホールで開催。絵画、彫刻・工芸、写真、書の各部門の審査員の解説を聞きながらゆつくりと見て回りました。鑑賞に先立ち青山会長が一魚津西RCとの合併問題に関する合同協議会の立ち上げの提案を作成した。あくまで私案だがみなさんと相談して了解が得られれば西RCの青山会長に提案する。」とあいさつした。



あいさつする
 青山圭一会長

出席報告

3446回 9名 50.00%
 3444回 メークアップ
 愛宕君、中田君
 3444回 55.55%→66.66%

魚津ロータリー会長賞の作品 入賞おめでとうございます(敬称略)



辻夫人の作品
 も展示



「小さな駅」
 能登雅子



「涸沢の紅葉」
 浅井満



「さんま船出漁」
 舛田勝義



「平賀節代の句」
 大江祐希



**「秋のこどもまんなか月間」
 県下一斉啓発活動に協力**

こどもや子育て世帯を社会全体で支える機運を醸成することを目的に、魚津市でも8日、こどもまんなか月間の啓発活動が行われました。当クラブからは川岸君、澤崎君がアップルヒル(写真)、島田君が魚津サンプルで参加し、啓発チラシを配布するなど活動支援に協力しました。

魚津市2RC合併に関する合同協議会の立ち上げについて(案・要旨)

- ・合同協議会メンバーとして両クラブより3~4名の委員を出す
- ・委員は2610地区本部の委員やガバナー補佐の経験者、現会長、その他会員の代表者など
- ・人数は両クラブとも同数にする
- ・両クラブはそれぞれ協議会を設け、内容を文書化して持ち寄り、合同協議会を原則2か月に1回行う
- ・合同協議会で合併の必要性や是非、合併の具体的な形を協議する
- ・合併に前向きな結論が出た場合は改めて合同準備会を立ち上げる